

20/06/12 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会（第22回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

荒川：始める
司会 主幹荒川

佐治所長：おはよう
この間有識者会議を見合わせてきた
開催できてうれしい
マスク着用にご協力を
新たな工程の案について
貴重なご意見を賜りたい

荒川：出席者紹介
県代理 浅岡
ただいまから写真・ビデオはご遠慮ください
座長に一任

瀬口：「新たな工程」の案について

荒川：説明する
昨年8月以降工程の見直し
天守閣部会、石垣部会、竹中と個別に相談した
ご意見を頂戴したい
資料1-1
現在復元計画の再検討及び基礎構造の検討
イメージ図を基に時系列に配置した
実現可能な手順にする
3月31日と同じ
緊急事態宣言が発出した 当初2か月遅れている
3月2日 外構工事毀損事故 対処に全力を挙げている
再発防止対策 関係者のご理解が得られるまで発掘調査できない
破線 石垣等追加調査
応急的措置
現状変更許可 不確定な事態

工程は伸びることもあるが縮むこともある
復元検討委員会 2年半を見込んでいる
有識者から意見を受け、恒久的な措置を行う
建築基準法、消防法等
穴蔵撤去

瀬口：意見は

小野：工程をお話しいただいた

止まっている 石垣部会との関係
石垣の追加調査とか、穴倉石垣試掘 2020年あるにしても
この辺がどうなっているか教えて
試掘もそうだが、調査に関して調査項目、何をどこまで調査するのか
石垣部会には了解を得ているのかこれからなのか
調査した、報告した、不十分です
どんどん延びるのは疑問に思う
ちゃんと了解を得ているのか

村木副所長：石垣、遺構の調査

遺構の毀損事故 そちらの手続き進められていない
文化庁指摘事項 調査の準備は進めている
内堀調査 昨年度調査した
さらに調査が必要
石垣・埋蔵文化財部会に早急にお諮りしたい
了解がどこまであるのか？これから部会の審議をお願い
どこまでを目標にするか
穴蔵石垣 具体的な部分はこれから詰める しばらく時間がかかる
御深井丸 礎石がある 慎重に検討する
順次お諮りしたい
ご審議いただいたあと、部会の先生方と合意したい

瀬口：ほかにはよろしいか

古阪：石垣部会は天守閣部会より前にはじめている

天守閣部会はあとから

石垣部会はなにをやったのか これからなにをするのか

説明ではまったくわからない

京都 9か月でおわった

石垣はそんなに難しいはずはない

これまでやったこと、今後やることをはっきり

復元するには

いったん解散も検討を

石垣部会

報道もある

いい加減なことが行われているか

これから10年かかる これだよいか

佐治：石垣・埋蔵文化財部会との関係性

部会に諮っていくことは今後相談

部会の構成員 どんな調査をするか 順次こなす

しっかり理解している

われわれの審議の関係 順次お諮りしている

全体整備検討会議に諮っておろして 手順

石垣部会と

古阪：回答になっていない

復元部会

前に、石垣部会の具体的内容

こういう問題がでたらどう対応する

全体会議で検討

復元部会としてはどうするか

技術者、研究者 きちっとやっていただきたい

何べんでもいう わかりやすいように

コロナ 日本の政府のやり方 シンガポール 台湾、香港、韓国

いい悪いがある

きちんと世の中に発信できて

日本の政府のやり方 見えているか疑問

信頼関係があるはず

契約が基本

日本もそういう風にならなくていい

佐治：新たな工程案 石垣埋蔵物部会に諮る

発掘調査 内堀、穴蔵 御深井丸

3月31日スタートしているはず ストップしている

修正したい

修正したものはお示ししたい

瀬口：3年間やってきたが、いまだになにをやっているかわからない

名古屋市から情報が出てきていない

なにをいつまで明らかにしているか

「順次図れるものは諮っていく

工程を考えるにはなっていない

だせないのか

佐治：文化庁 指摘事項 追加情報をお返りする 全力

中身は決まっている

いつまでに終えて、返すかお示ししたい

川地：気にしているのは、今ある天守閣2年前入場禁止 異常事態

2年入れない

一刻も早く木造復元を実現しないといけない

市民感覚だと思う

工程表を見させていただいた

気づいた点

かつての工程表 文化庁に書類を出して、5年

今は8年

西の丸既存の問題 この通りスタートできるか疑問

工程としてどれだけかかるか 進行まで

かつての工程 5年だと理解

前と3年違う

復元検討委員会 前は3回

本丸御殿と同じでなるだろう 1年

これが2年半 1年半延びた 8回

現状変更許可を取ろう

1年半 トータル8回は文化庁とのやり取りで決まったのか質問
工事そのものは31か月 基本的には変更しない

着工するまで前1年半→3年

前は5年→1年半+1年半

解体工事が相当伸びている

準備工事 解体が終わった後2か月くらいで着工になっている

9か月くらいの準備工事はなにか

バーチャート クリティカルパスはなにか

解体工事、準備工事がクリティカルだと理解

- ・1年復元検討委員会→2年半
- ・現状変更 1年が2年半になった理由
- ・準備工事 具体的に何か

荒井：復元検討委員会 2年半 伸びたり縮んだり

文化庁から2年半言われているわけではない

文化庁と色々な打ち合わせ 今回木造復元が、過去にないような高層木造
石垣の上に立っている 特別史跡

現在現天守 解体して木造復元 類のないような復元事業

今まで経験がない 文化庁と打ち合わせの間隔 2年半と想定

短くなるかも もっと延びるかも

許可が下りてから3年 当初は技術提案交渉方式 竹中 2022年7月に延びた
検討して進めてきた 昨年8月に延期

過去に基本設計 石垣調査、実施設計進める中でどういうところで時間がかかるのか
これまで3年間で明らかになった

上部解体と穴蔵の解体 トータル7か月を見ていた

上部解体6か月 穴蔵1か月→7か月に延びた

基本設計 石垣をいかに影響を与えないような工程

調査、観察をしながら影響を与えない工法

実現可能な手順で工程 重きをおいて書いている 反映した

準備工事 今後進める工事 穴蔵部分の解体を進めないとわからない部分も
やってみて初めて分かることもある

31か月でできる→前後することも

穴蔵部分の解体工事やってみて、24年穴蔵解体調査

わかった事実を踏まえて工程

仮設素屋根

解体のため+復元 屋根部分を整備する

準備工事という工程をとっている
短くなることもあるが、この期間を見込んでいる
動くことはある

川地：今の説明は理解できる

あえて確認した

大天守のほう 四隅 コンクリートの柱は穴蔵の中に入っている
解体は慎重にしないと

解体しないとわからないことはあるとは思うが、
復元検討委員会の2年半 議論してもしょうがない
残るは3年のところ 検討委員会で議論中も

市民 2年も前から閉鎖「いつになったら着工するのか」

最善の努力をしないといけない

ついて 石垣の話でている

素人だが、石垣といえどもかつての石垣を復元するのではなく、
持続可能な石垣にすべき 未来に向かっての石垣に
当然考えられていると思う

一体で考えて

2年半復元検討委員会 圧縮していただきたい

そういう希望

瀬口：ほかに

麓：工程を見直し

こうなんども着工が遅れる 後ろに延ばすわけにもいけない

今の段階 2028年竣工できる

そして不確定な部分があるにしても、文化庁からの許可をいただいて
解体 6年弱

以前の工程より長いじゃないか？

別の見方 以前の工程がほかの木造建築より工事の規模 工事期間が短いと思っていた
前代未聞の規模の復元

限られた期間 最大努力で提示されたものと

31か月 また明らかに延ばして6年弱 工程表

名古屋市として提示しにくい こういう工程表になっている

このくらいはかかりそうな気がする

構台、栈橋、素屋根

保存小屋、作業小屋、事務所 様々な仮設物 同時に
いままで木材保管 こちらに持ってきて、検討するまでもなく
決まった部材 変更にならないよう
木材の加工に取り掛かれると思ってる
木材加工から復元工事だと思う
いい仕事をするためには、ちゃんとした時間を取りつつ
目標の2028年までにはできます
復元工事31か月を 前に提案したものに縛られることなく
適切な工事期間を表したものに直したほうがよい

川地：麓先生に大賛成

主要木材の調達は済んでいる
主要部材の加工はできる
31か月ではなくできることからやっていくことは可能だと思う

荒井：ありがとう

準備期間 期間がどれだけか
解体紫から緑色
準備工事とは、木材加工、土ごしらえ 事前にやっていきたい
進めていきたい
文化庁からの許可 解体と復元を一体でやろう
許可をいただければ契約をして準備に取り掛かれる
手順精査 解体 素屋根から木材加工やっていきたい
表現としては準備工事を延ばすとわかりやすくなるかも
工程を提示したい

麓：木材製材は準備工事とは言わない

31か月にとられる必要はないのでは
実質的な工事期間に

小野：どこがクリティカルか 文化庁の許可がいつ出るか

進行が止まる
準備工事の期間はどうでもよい

文化庁許可に全力を注いでほしい
石垣部会と言っては申し訳ないが、地元有識者が認識をしているか
反対しているところがある
そのことをきちんと進めるよう、石垣のなにをいつまで明らかにすべきか
はっきりしてもらいたい
後ろの細かい議論をしてもあまり意味がない
市のほうによろしく 要望

瀬口：西形先生は

西形：石垣部会にも足を突っ込んでいるので答えづらい
石垣 天守石垣に手を加えないのが前提
石垣を保全しながら天守
ところが、当時は部会員ではない
調査が必要 調査をやればやるほど問題が出てきた
石垣部会に入る前 調査の状況を聞いていた
これでいけるのではないかという意見を出した
石垣 保全が確認できなければ文化庁の許可がでない
石垣部会が危惧しているのは、決して遅らせようというのではない
なにか置き去りにになっている
文化庁の許可がなかなかおりにくかった
天守台石垣調査 これまでの調査を踏まえて、抑え盛り土 予定していた
それで大丈夫かどうか確実に検討したい
天守台石垣調査を予定している
多分追加調査で工法で妥当かどうか
現在そんな状況

古阪：意見はよい
3年間立っている
石垣の技術的
メンバーがいなかった
西形さん もっと一緒に考えないと
3年間ほったらかし
こういう技術的 竹中であれば、外部から
一体になって

もう一人入れます、もう一人入れますでは意味がない
公開しないと
準備 建築基準法上問題がある
鉄骨のようなもの
全部ユニット作っちゃう
現場は24日でできる
準備 復元工事 厳密にわけると意味もない
麓さんおっしゃった 木造加工 荷重でなければできない
準備 現場に持ち込む際に建築基準法上
無駄な時間が流れている
もっといって、施工 市の契約 ずいぶん変わっている
判断する立場ではない 非常に大きな問題
市民の方 城に上がることがいつまでできないのか 最大の問題

瀬口：石垣の技術的な問題 解決できるか
現在の体制で
西形先生どう思っているのか

西形：石垣の安定性 なかなか結論を出せない
復元の基本的な考え方 石垣には構造は分離された形で計画
石垣の変状等が起こっても、天守には影響しないようにという考え方
工事によって石垣そのものに影響をあたえないように
変状が起きないように
石垣そのものの安定性、長期の持続性を念頭に置いて
石垣の調査をしている

瀬口：天守復元とは関係ないのか

西形：そうですね

瀬口：石垣部会が危惧されていることは開示されているか
地元の有識者 危惧していることが、全然解決していないのではないか
名古屋市がこたえている？

なおざりにされているとおっしゃった
そこが大きいのではないか
技術的解決
計画的
技術的 解決 先生一人で大丈夫か
いままではいなかった
ここに問題があるのかも
テクニックの話をしている

西形：石垣のいろんな調査が行われている
問題点がでてきているよう
伺っているのは、天守荷重 石垣にかかることはない
石垣そのものの安定性は維持できるのではないか
すこし細かい追加調査
内部構造を調べる必要があるのでは
予期しないような空洞があるのでは
そのような調査をしたい
その辺が満足されれば、工事中の対策 提案されている
安定性が確保されるだろう

三浦：工程表の意見ではないが、
8年後
東南海地震 わりに早く来るのではないかとされている
想定していかないといけない
地震 濃尾大地震 天守台石垣はほとんど無傷
熊本大地震 石垣に荷重かけてない
上から重さかけない 自由に揺れる
強度が弱くなる
熊本地震 木造復元建物が載っていた石垣 1棟を除いて崩壊した
木造復元建物載っていないもの 明治以降積みなおしたところ崩れた
それ以外あまり崩れていない 解析が不足している
コンクリートパネル
四隅崩れなかったんは、コンクリート上から押しえつけられた
解析不足
コンクリートパイル 石垣に影響
四隅だけは上から押しえつけられていた

名古屋城 石垣に重さをかけていない
東南海地震が来たら、大事だと言っているが、コンクリートが中にある
上のほうを積みなおした
上のほうが崩れ落ちる可能性がある
ほったらかしにしている
どうやったら石垣を保全できるのか
石垣に重さをかけてはいけない→時代遅れの考え方
木造 1階 2階 できた後、石垣に荷重をかけるように
天守の 1階 2階は持つだろう
8年間の間に検討して
石垣の新しい工法 提案を実証して研究してほしい
東南海地震 来る可能性が高い
どの時点で来た時にどう対処するか
予想して、そのときの対応を検討しては

瀬口：安定性 地震を考慮しない
外力を考えないで安定させよう
三浦 外力が働く場合の安定性 工学的検討を
名古屋市はどうですか

荒井：石垣の安定性
設計担当 竹中 工学的解析を進めている
天守台の中になかったケーソンがあることで石垣にどう影響があるのか
ない場合の解析
当然建物を復元したときにどうなるか
構造解析中
当然進めている
三浦先生の話も含めて、より詳細に検討

瀬口：ほかには

西形：難しい問題
地震時の天守構造と石垣の相互作用 複雑な問題
工学的手法では答えが出ないのでは
上から荷重をかけては

当然相互作用が生まれる

熊本 大天守 荷重が乗っていた 両者の振動特性が違った

三浦先生 これから何年かかるか 工学的検討は必要だと思う

どういう形でどの程度 難しい問題があると思う

許された時間の中で検討

瀬口：ほかはよろしいか

！つしかない

なければこれで終わる

今日出た話は、クリティカルパス 太平洋戦争

アメリカ SE を使っている

目づまり クリティカルパス

本日の工程表の中にある

復元検討委員会 なにをどこまで作成するのか

石垣調査 なにをどこまで調査 復元検討委員会とどう関係するのか

行き当たりばったり できたところから部会に諮ります

短くなることはない 長くなるばかり

それ以外に石垣と木造天守 外力がかかる 検討すべき

木造復元そのもの 工程が後ろにずらしただけ

その間を使って準備して

誤解がないように

大きい わからないというのが話に出た

次回はわかるように クリティカルパス

石垣

文化庁

古阪：座長が言っていたこと

技術提案交渉方式 クリティカルパスを表現

文化庁、議会 初めから出ている

事務局が変わっている 全部要求したい

議会 今の市長が頑張っている

これで長くなると首長も変わる 本当も大丈夫か？

世の中に発信しないといけない

強く要求したい

これで終わりそうだが、これでよいのか

7月10日にやるそうだが

石垣部会 こういうことをやろうとしている
熊本地震 京大にいた ドクター 地震研究していた人いる
熊本研究
構造力学の人
オープンにしたうえで協力してもらおう
名古屋市の人たちにとって必要

瀬口：今日の工程は終わり
次回7月10日
今日出た話題 どこをどう準備
石垣部会はどこを明らかにしようとしているのか
文化庁の対応 直接会っているいろいろな言われている
今後想定される宿題
次回議論ができると思う
所長どうか

佐治所長：貴重なご意見
文化庁とどこまで調整できるかわからないが、

瀬口：文化庁との調整はிரらない
名古屋市としてどうするか
佐治所長：しっかり検討したい
西形：石垣部会の議論の内容をもう少し明確にしたほうがよい
石垣部会 議論をしている
工程 いろんな意見があったかと思う
天守閣部会にも知らせてほしい

瀬口：お互いに何をやっているかわからない
どういうニュアンスかわからない

川地：工程以外の話
気になっていること
3月5日新聞記事

2028年10月ごろまで延びる

違和感を感じる

「延びるけど、事業費505億は堅持、順守する」

5年6年延びるなか堅持、順守？

経費はかかる

木材の製材、保管、乾燥

2000立米以上調達済み 外で保管できない

これだけの経費かかる

石垣 跳ね出し加工見直し 人件費かかる

ちょっと懸念されるのは、プロジェクトで、当初で事業費

VEやる コストダウンと同じ

史実に忠実なプロジェクト VEはそぐわない

無駄はいけないが、かかったものは市民、議会に丁寧に説明しながら

やむを得ずかける

大方の木材 調達済み 裏木曾から調達が原則

コストダウンのため市場から調達

VEはとらないように

市民に丁寧に説明しながら、史実に忠実なものを作る

新聞に「堅持、順守」違和感

私の意見

瀬口：VEで価格を下げることはふさわしくないのではないかと

荒井：この事業は史実に忠実 たくさんの資料に基づき復元

505億円をどうしても守る

質を下げることはよくない

設計を進める 竹中も取り組んでいる

505億円 事業費としてある

質 事業を求め 達成すること

事業費を上げてよいというものではない

竹中と協議をして、膨らむことはないように

予算管理 できるだけ守る

期間が延びる 基本協定 名古屋市結ぶ

工事契約を行う上で、価格交渉を行う

竹中、市 市のコストとしていくらになるか

適正な価格 契約金額

全体予算を管理しながら
今現在 505 億に収まるか そうじゃなくなるかもしれない
説明責任がある
目標は 505 億円

瀬口：ありがとう

荒川：ありがとう